

放射線基礎医学

教授 本田 昂
助教授 二谷 立介
教務職員 前田 正敏

◆ 著 書

- 1) 二谷立介, 龍村俊樹: 胸部外傷の画像診断. 「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著, 329-335, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1996.

◆ 原 著

- 1) Watanabe N., Yokoyama K., Seto H., Shimizu M., Futatsuya R., Kinuya S., Michigishi T., Tonami N., Kakishita M. :Evaluation of radiotoxicity after iodine-131 therapy for thyroid cancer using the micronucleus assay. J. Nucl. Med., 37:101-102, 1996
- 2) Mori M.-A., Shoji M., Dohrin M., Kawagoshi T., Honda T., and Kozuka H.:Further studies on the urinary metabolites of 2,4-dinitrotoluene and 2,6-dinitrotoluene in the male Wistar rat. Xenobiotica, 26:79-88, 1996.
- 3) 藤下繁人, 中川小百合, 道林昌弘, 川合信次, 森口幸栄, 牛島豊彦, 遠藤武, 本田昂: FO-439の体内動態—ラットおよびイヌにおけるFO-439単回静脈内または肝内投与後の吸収, 分布および排泄ならびに反復静脈内投与後の吸収—. 薬理と治療, 24: 361-374, 1996.

◆ 学会報告

- 1) 渡邊直人, 清水正司, 二谷立介, 瀬戸光, 横山邦彦, 絹谷清剛, 道岸隆敏, 利波紀久: Sr-89治療法における小核試験を用いたリンパ球の放射線障害に関する検討. 第36回日本核医学会総会, 1996, 9, 京都.
- 2) 渡邊直人, 瀬戸光, 清水正司, 柿下正雄, 二谷立介, 横山邦彦, 絹谷清剛, 道岸隆敏, 利波紀久: 放射性ヨード大量療法における小核試験を用いたリンパ球の放射線障害に関する検討. 第55回日本医学放射線学会学術発表会, 1996, 4, 横浜.
- 3) Watanabe N., Yokoyama K., Seto H., Shimizu M., Futatsuya R., Kinuya S., Michigishi T., Tonami N., Kakishita M. :Evaluation of radiotoxicity after iodine-131 therapy for thyroid cancer using the micronucleus assay. The 43rd Annual Meeting of the Society of Nuclear Medicine, 1996, 6, Denver.
- 4) 將積浩子, 瀬戸光, 二谷立介, 田近貞克, 松能久

雄: 小腸原発の malignant gastro-intestinal stromal tumorの1例. 日本医学放射線学会第120回中部地方会, 1996, 7, 福井.

- 5) 渡邊直人, 瀬戸光, 清水正司, 柿下正雄, 二谷立介, 横山邦彦, 絹谷清剛, 道岸隆敏, 利波紀久: ヨード治療における小核試験を用いたリンパ球の放射線障害に関する検討. 日本核医学会第42回中部地方会, 1996, 2, 岐阜.
- 6) 庄司美樹, 川腰利之, 本田 昂, 佐山三千雄, 森正明: ジニトロトルエン投与ラットの胆汁中抱合型代謝物について. 日本薬学会第116年会, 1996, 3, 金沢.

◆ その他

- 1) 前田正敏: Re-186標識モノクローナル抗体についての知見. 平成8年度Re-186に関する研究連絡会, 1997, 1, 東京.
- 2) 田沢賢次, 本田 昂, 前田正敏, 山本克弥, 大上英夫, 大西康晴, 竹森 繁: アップルペクチンの大腸癌発生抑制機構の解析—発癌物質, 胆汁酸の腸肝循環動態—. 平成7年度科学研究費補助金(一般研究C: 06671189) 研究成果報告書, 1-27, 1996, 3.